# INTER COOLER SE
## Standard Edition

"BLITZ" means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 "BLITZ" has developed and evolved automotive.

# 取付説明書

## MARK II,CRESTA,CHASER
## JZX90,100

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！
●この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。
　よくお読みになって、正しくご使用下さい。
●本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

## 装着車輌可能車輌と製品の仕様

□車　　名：TOYOTA MARKⅡ/CRESTA/CHASER
□型　　式：JZX90/JZX100
□エンジン：1JZ-GTE
□年　　式：JZX90：1992年10月～1996年08月
　　　　　　JZX100：1996年09月～2000年10月
□製品名称：BLITZ　INTER　COOLER　Standard　Edition
□製品番号：23105

## 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

■連絡先：（株）ブリッツ　　■TEL：0422-60-2277
■住　所：東京都西東京市新町4-7-6　　■FAX：0422-60-0066

## はじめに確認して下さい！

■この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
■本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

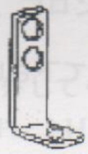
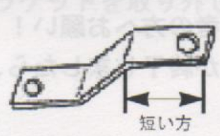
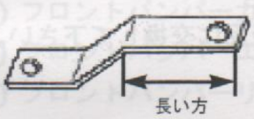
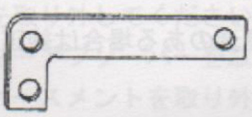
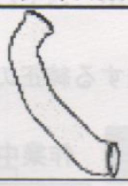
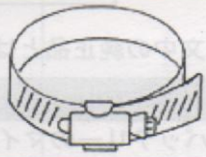
## 重要事項の確認

□本製品はノーマル車輌を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングＫＩＴ、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輌の場合は本ＫＩＴの装着ができない場合があります。
□本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
□本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
□本製品を装着すると、車輌によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
□作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
□作業はメーカーの発刊する整備手順要領書を基本におこなってください。
□装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
□表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
□取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
□一般公道での走行は、道路運送車輌法を守って走行してください。

## 取り付け作業者の方へ注意

□品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

# 構成部品及び付属品リスト

| 部品 | 数量 | 図 |
|---|---|---|
| インタークーラーコアASSY | 1個 |  |
| ブラケットA1 | 1個 |  |
| ブラケットA2 | 1個 |  |
| ブラケットB | 1個 |   |
| ブラケットC | 1個 |   |
| ブラケットD | 1個 |  |
| ブラケットE | 1個 |  |
| インテークパイプNO.1 | 1個 |  |
| インテークパイプNO.2 | 1個 |  |
| インテークパイプNO.3 | 1個 |  |
| シリコン ホースφ70用 | 4個 |  |
| クランプφ70用 | 8個 |  |
| クランプφ10用 | 6個 |  |
| スペーサー | 4個 |  |
| オイルホース 2500mm | 1個 |  |
| コルゲートチューブ | 1個 |  |
| タイラップ 200mm | 5個 |  |
| ボルトM8×12mm | 3個 |  |
| ボルトM6×15mm | 9個 |  |
| ナット M6 | 3個 |  |
| ワッシャーM6用 | 1個 |  |

## □ 組付作業手順□

作業者の方へお願い！！

作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却して下さい。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検して下さい。

■純正のホースやバンドなどの部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換して下さい。

■再使用する純正のガスケット類も十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

**警　告**　**作業中の怪我・火傷**

装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは自動車メーカーの標準装着品の意味です。

### ■ノーマルパーツ取り外し■

1. バッテリーのマイナス端子を取り外して下さい。
2. 車輌をリフトアップ（ジャッキアップ）し、エンジンアンダーカバーを取り外して下さい。
3. フロントフェンダースプラッシュフロントシールド（**RH・LH**）を取り外してください。
4. ＜フロントバンパーカバー**ASSY**取り外し＞

**JZX90 マークⅡ**

(1) ライセンスプレートを取り外し、フロントライセンスプレートマウンティングブラケットを取り外してください。

(2) クリアランスランプ**ASSY**（**RH・LH**）を取り外してください。

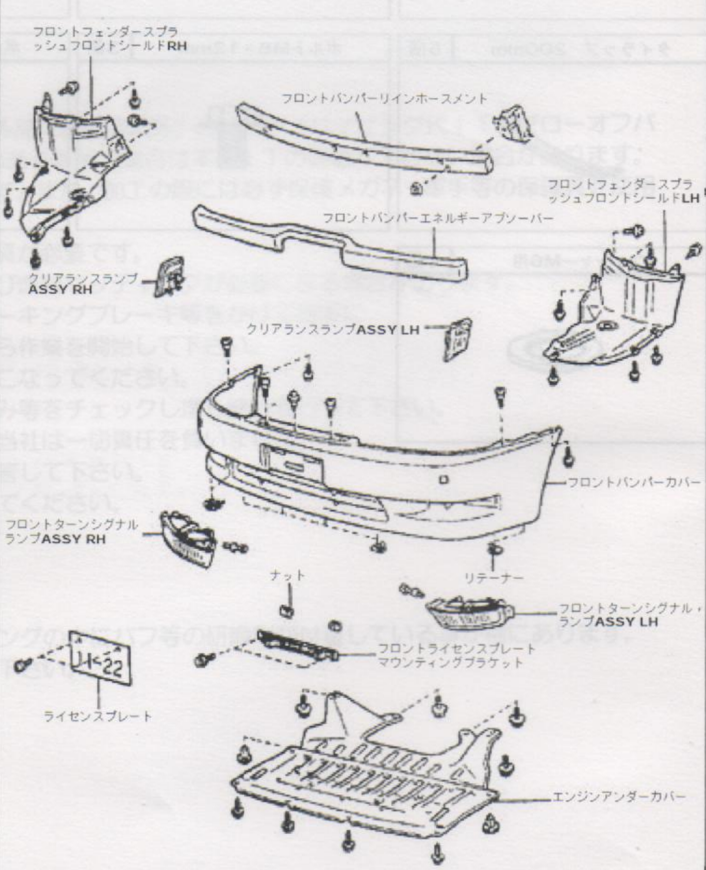
(3) フロントターンシグナルランプ**ASSY**（**RH・LH**）を取り外してください。

(4) フロントバンパーカバーを取り外してください。

(5) フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取り外してください。

(6) フロントバンパーリインホースメントを取り外してください。

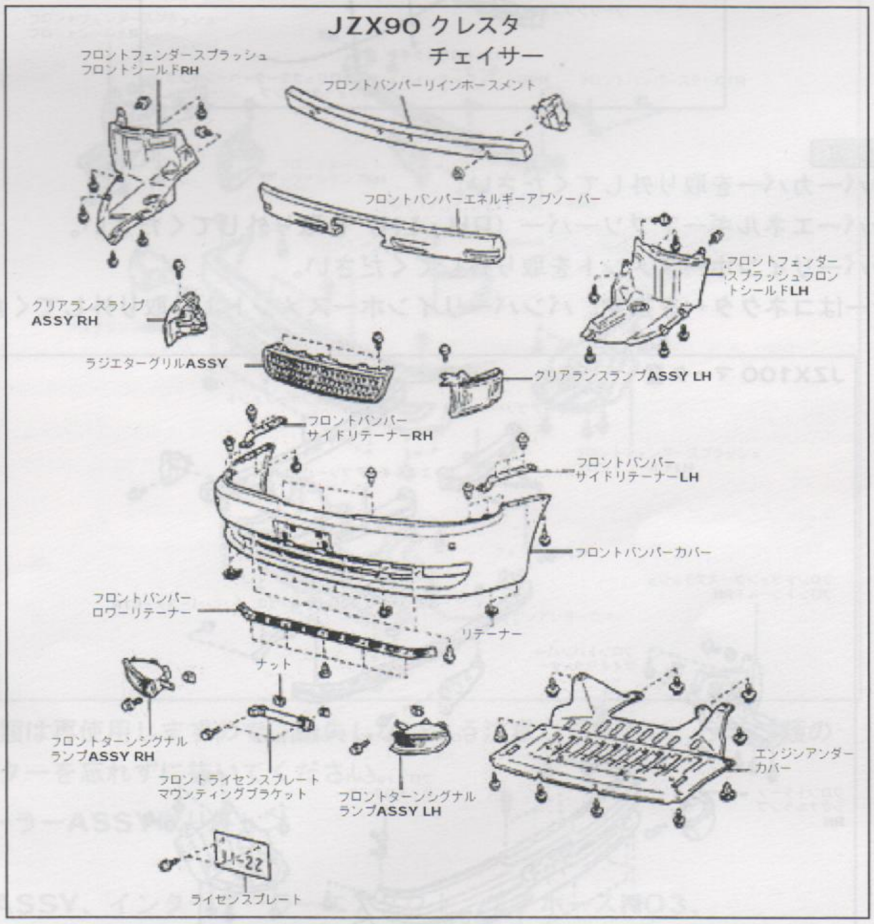
JZX90 マークⅡ




**お願い**　ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。ランプ類のコネクターを忘れずに抜いてください。

**JZX90 チェイサー・クレスタ**

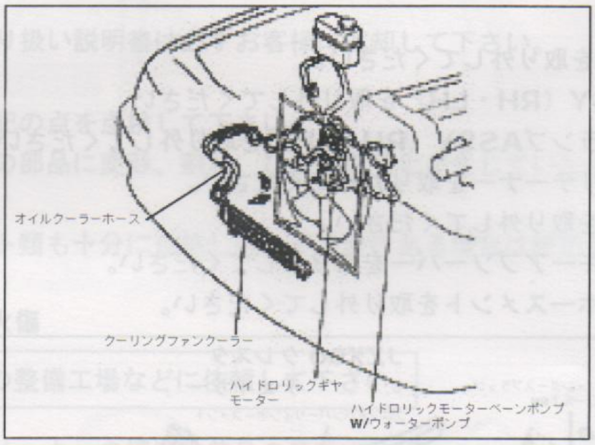
(1) ライセンスプレートを取り外し、フロントライセンスプレートマウンティングブラケットを取り外してください。
(2) ラジエターグリルASSYを取り外してください。
(3) クリアランスランプASSY（RH・LH）を取り外してください。
(4) フロントターンシグナルランプASSY（RH・LH）を取り外してください。
(5) フロントバンパーロワーリテーナーを取り外してください。
(6) フロントバンパーカバーを取り外してください。
(7) フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取り外してください。
(8) フロントバンパーリインホースメントを取り外してください。




| お願い | ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。ランプ類のコネクターを忘れずに抜いてください。 |
|---|---|

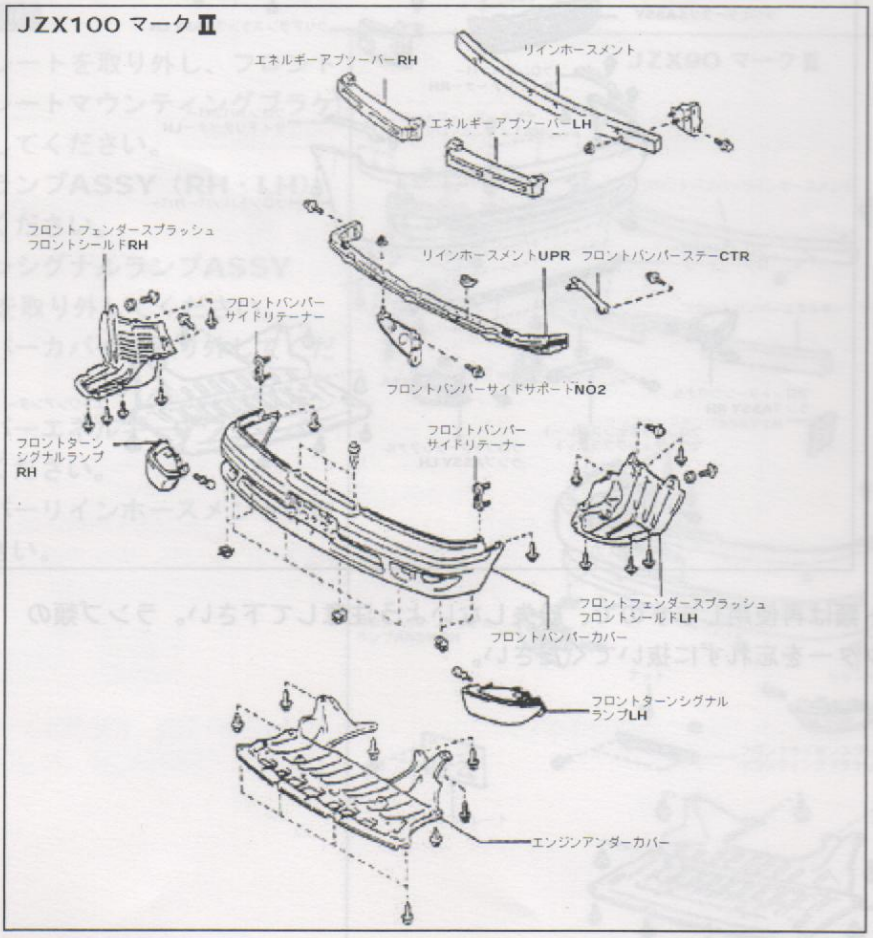
**JZX90 全車種**

クーリングファンクーラー及びオイルクーラーホースを取り外してください。




**JZX100 マークⅡ**

(1) フロントバンパーカバーを取り外してください。
(2) フロントバンパーエネルギーアブソーバー（RH・LH）を取り外してください。
(3) フロントバンパーリインホースメントを取り外してください。
※外気センサーはコネクターを抜き、バンパーリインホースメントより取り外してください。




| お願い | ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。ランプ類のコネクターを忘れずに抜いてください。 |
|---|---|

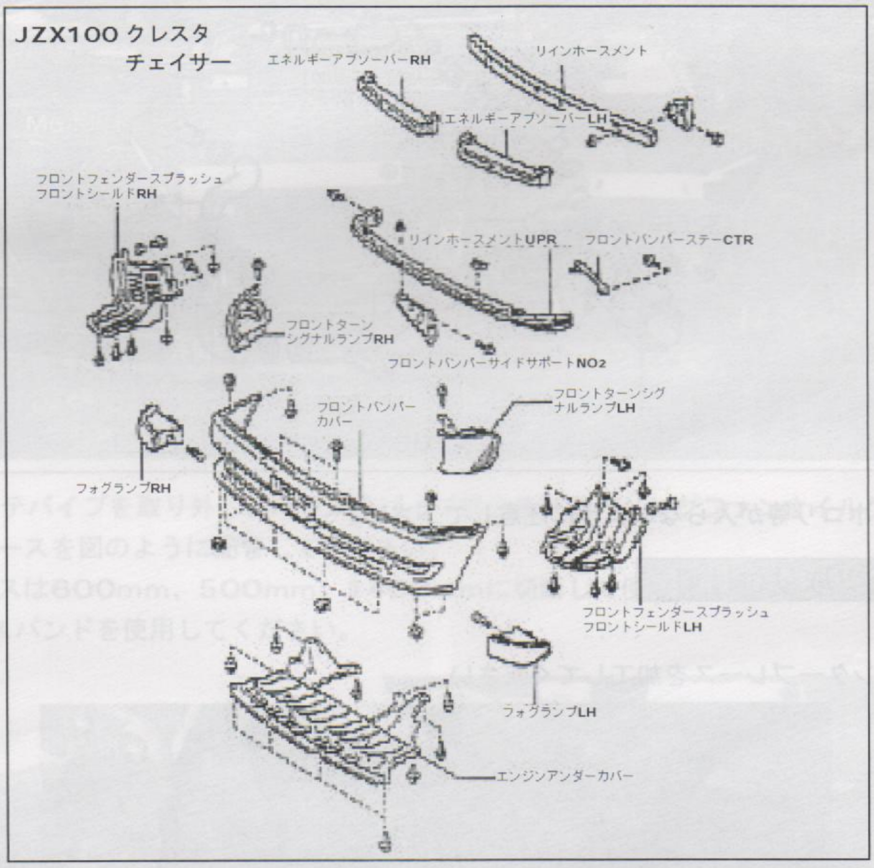
**JZX100 クレスタ チェイサー**

(1) フロントターンシグナルランプ（RH・LH）を取り外してください。

(2) フロントバンパーカバーを取り外してください。

(3) フロントバンパーエネルギーアブソーバー（RH・LH）を取り外してください。

(4) フロントバンパーリインホースメントを取り外してください。
※外気センサーはコネクターを抜き、バンパーリインホースメントより取り外してください。

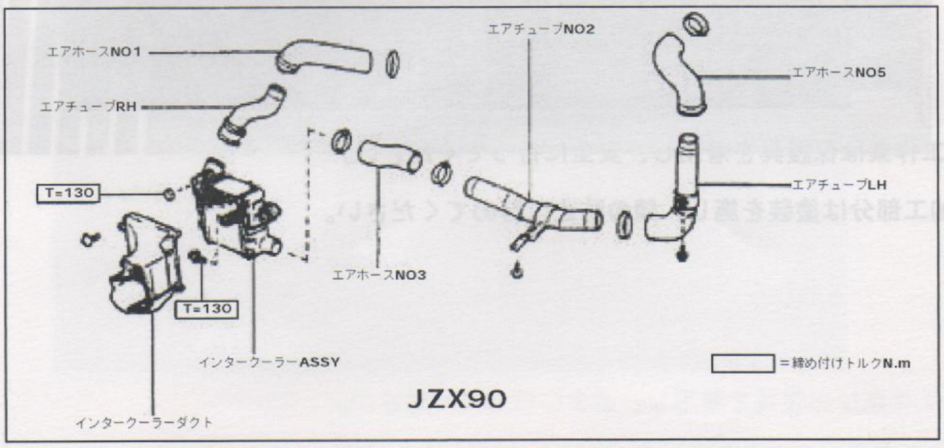



| お願い | ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。ランプ類のコネクターを忘れずに抜いてください。 |
|---|---|

5. <インタークーラーASSY取り外し>

**ＪＺＸ90**

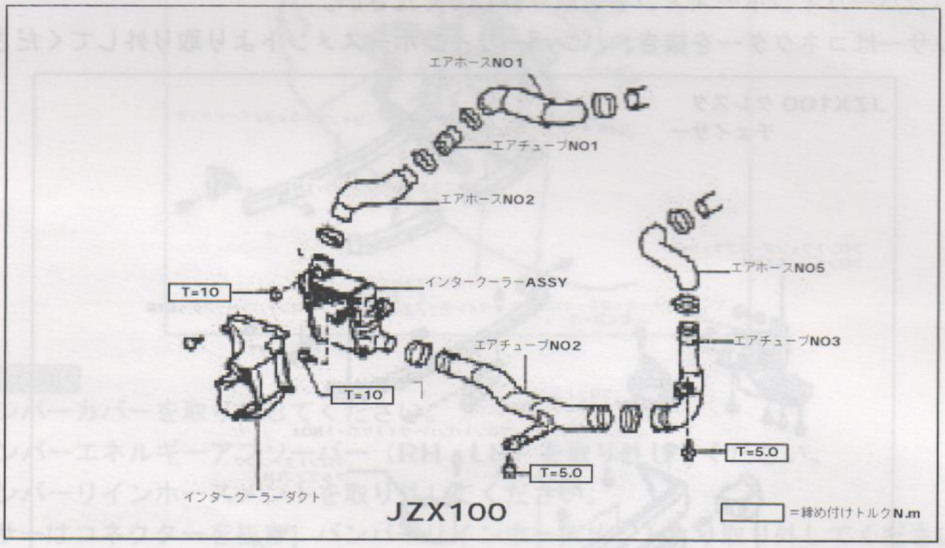
インタークーラーASSY、インタークーラーエアダクト、エアホースNO3、
エアチューブNO2、エアチューブLH、エアホースNO5を取り外してください。
※エアホースNO1、エアチューブRHは取り外しません。




| 注　意 | ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。 |
|---|---|

JZX100

インタークーラーASSY、インタークーラーエアダクト、エアチューブNO2、エアチューブNO3、エアホースNO5を取り外してください。
※エアホースNO1、エアチューブNO1、エアホースNO2は取り外しません。

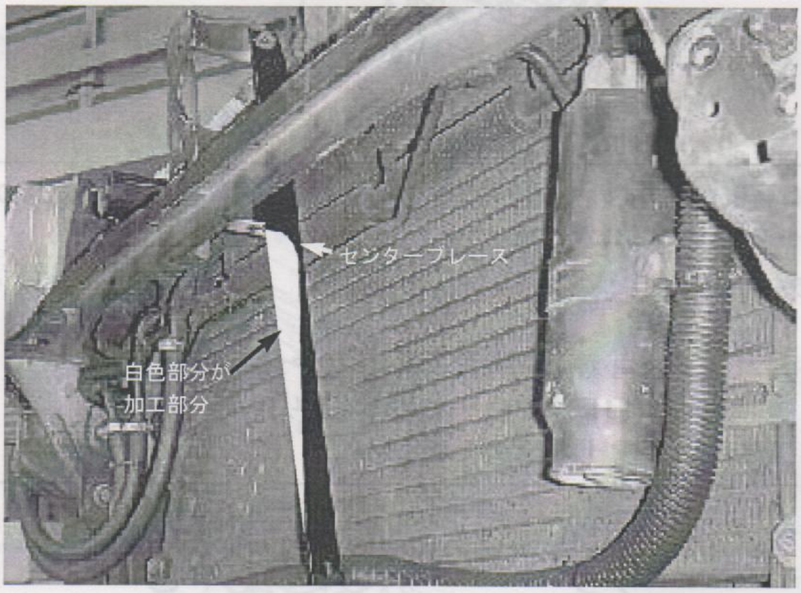



注意　ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。

## ■キットパーツ取り付け■

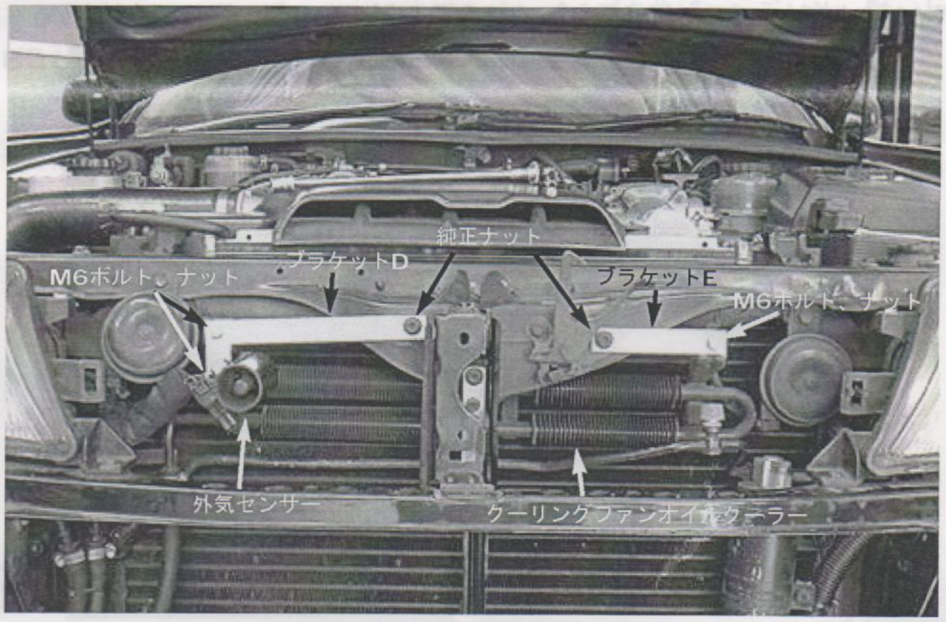
JZX90

1. 図のようにセンターブレースを加工してください。

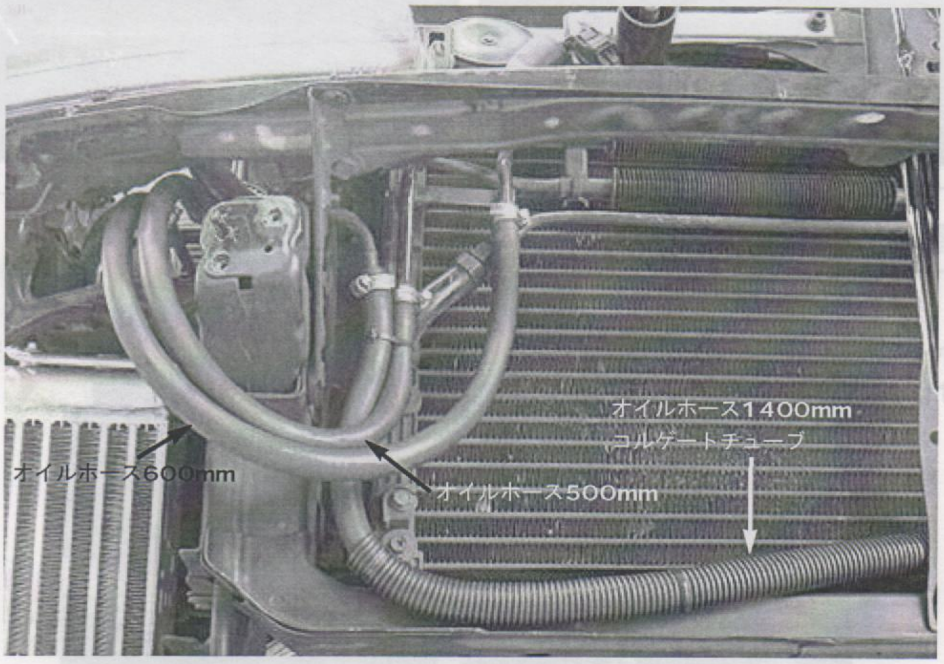



注意　加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。
※加工部分は塗装を施し、錆の防止に努めてください。

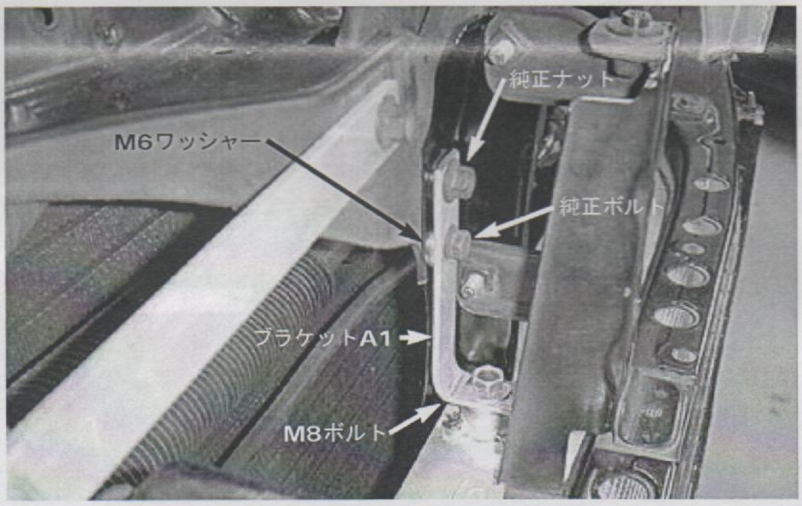
2. 付属のブラケットD、Eを使用してクーリングファンオイルクーラー及び外気センサーを移動してください。（純正のナット及び付属のボルト、ナットを使用してください。）

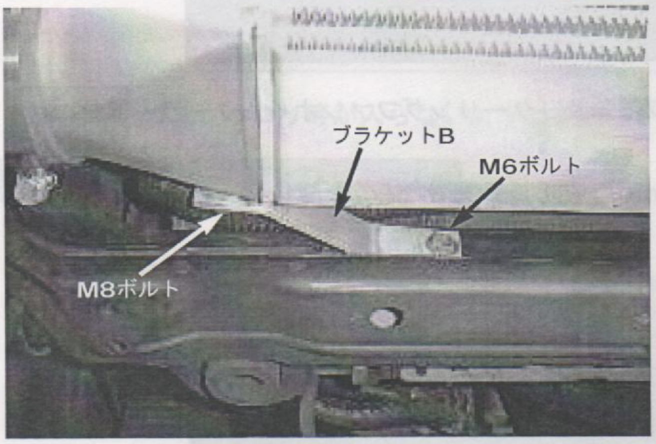


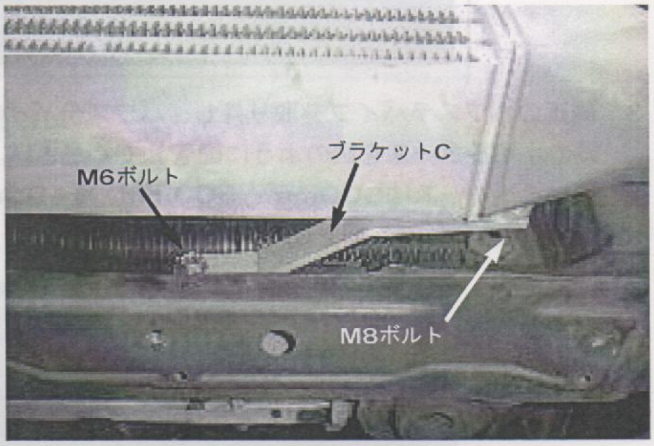

3. 純正のパワステパイプを取り外し、パワステパイプ部分及びクーリングファンオイルクーラー部分に付属のオイルホースを図のように配管してください。
（オイルホースは**600**mm、**500**mm、**1400**mmに切断して使用してください）
※付属のホースバンドを使用してください。



4. 付属のブラケットA1、B、Cを使用してインタークーラーコアASSYを取り付けてください。
（純正のボルト、ナット及び付属のボルトを使用してください。）
※エアコンパイプを曲げ、エアコンレシーバータンクをラジエター側に寄せてください。



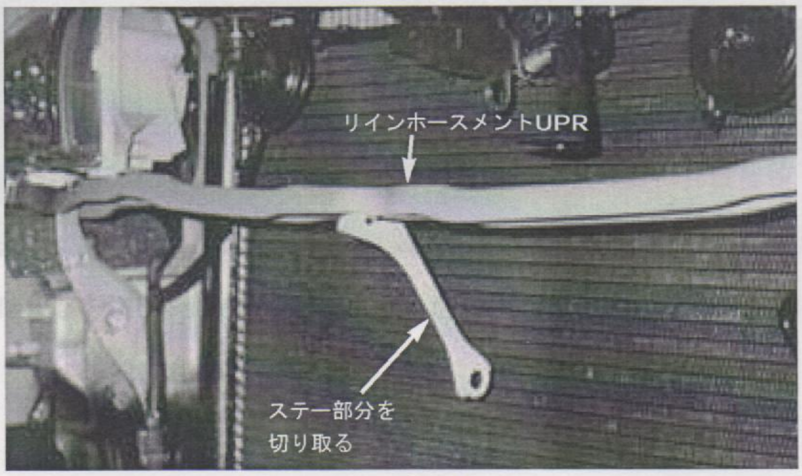




※インタークーラーが水平になるように調整しボディーの各部に干渉しないか確認して固定して下さい。

JZX100

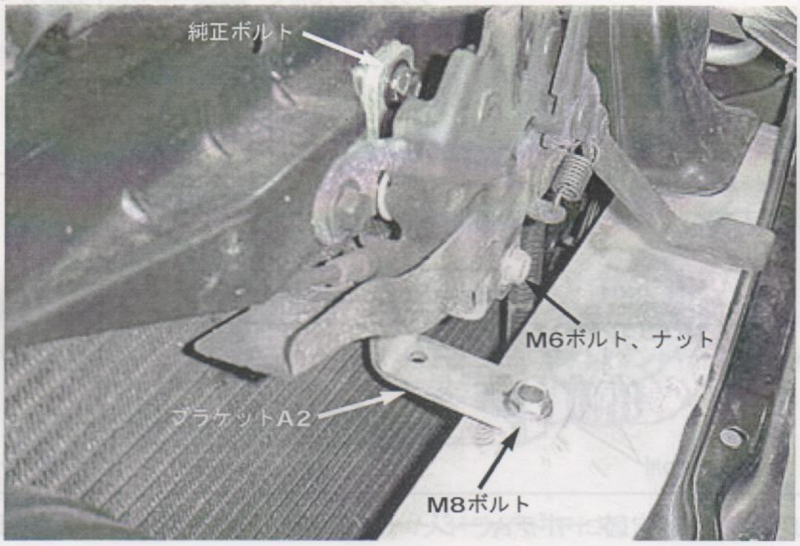
1. リインホースメントUPRを車輌より取り外し、ステー部分を切り取り、再度車輌に取り付けてください。
※リインホースメントUPR本体とはスポット溶接で接合されていますので、ドリル等で揉めば容易に外れます。




| 注 意 | 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。 |
|---|---|

※加工部分は塗装を施し、錆の防止に努めてください。

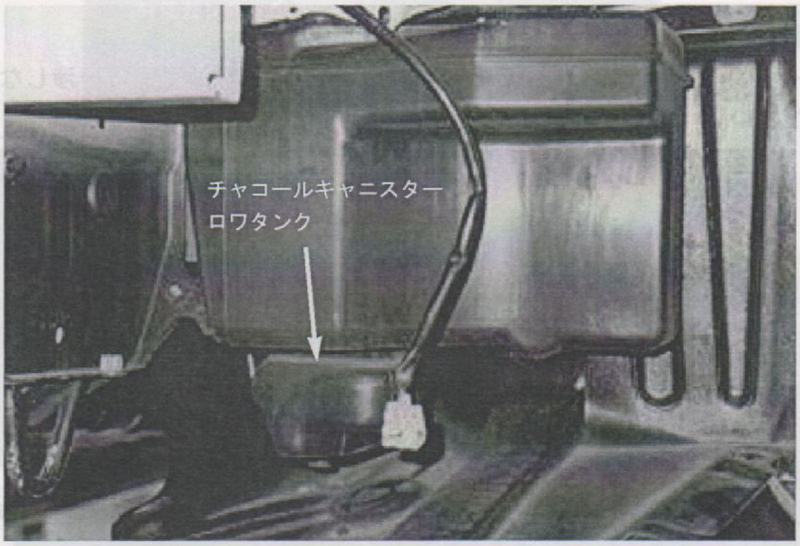
2．付属のブラケットA2、B、Cを使用してインタークーラーコアASSYを取り付けてください。
（付属のボルト、ナットを使用してください。）
※リキッドパイプがインタークーラーに干渉する場合は、パイプを曲げコンデンサー側へよせてください。
※ブラケットB及びCの取り付けはJZX90説明部分を参考にしてください。



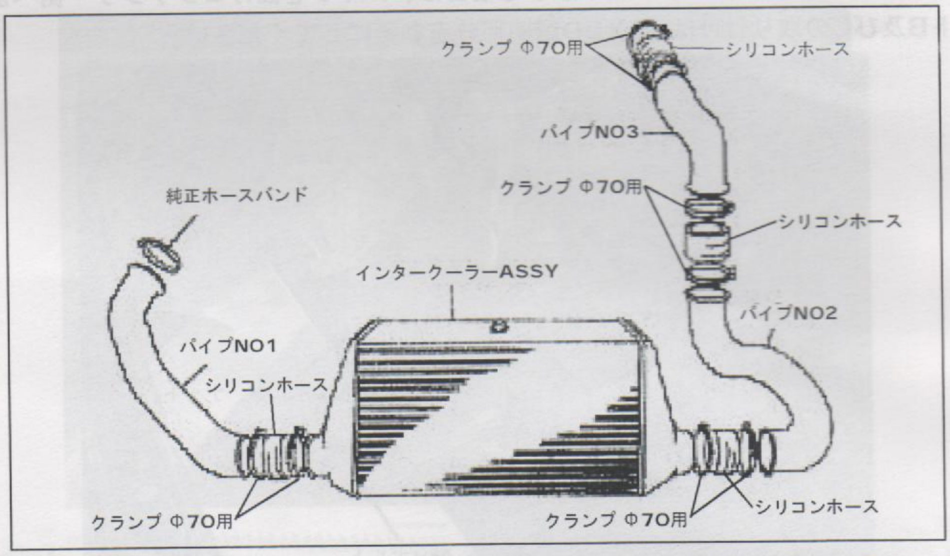

※インタークーラーが水平になるように調整しボディーの各部に干渉しないか確認して固定して下さい。

## ■インテークパイプ配管■

1．ＪＺＸ100の場合
純正のチャコールキャニスターロワタンクを取り外してください。
※下側に引っ張れば容易に外れます。



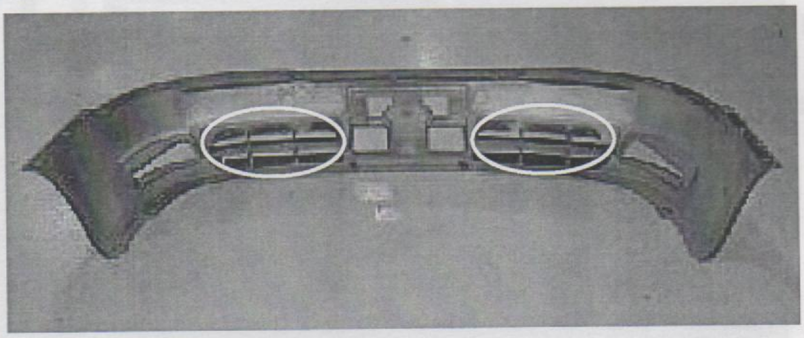
2. JZX90 JZX100 共通
付属のパイプNO1～NO3を付属のクランプ及びシリコンホースを使用して、図の様に配管してください。




※パイプにはパイプNOと方向（ターボチャージャー～スロットルへ向かって）が記されたステッカーが貼ってあります。
※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調整してください。
※パイプNO3はプーリーやファンベルトとのクリアランスに注意してください。
※パイプNO2・NO3がＡＴクーラーのパイプに干渉する場合は、ＡＴクーラーのパイプを曲げて逃がしてください。
※ホコリや異物が入らないように気をつけてください。
※インタークーラー本体の位置を調整し、各パイプとの位置を調整して取り付けて下さい。

## ■ノーマルパーツ取付■

1. フロントバンパーカバーがインタークーラーコアASSYやパイピング類に干渉しないように、○部分を削り取ってください。

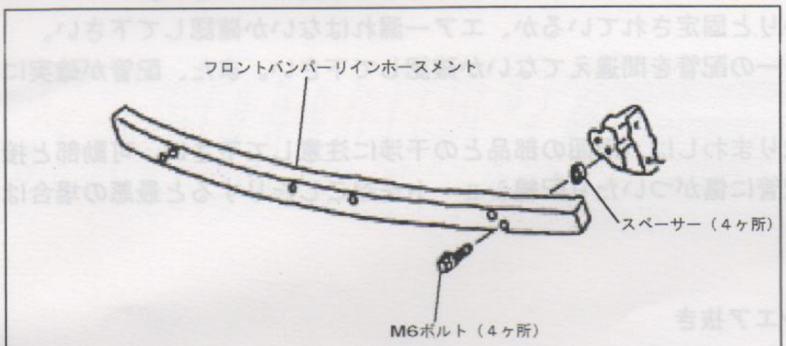


※写真はJZX90 チェイサーのバンパーカバーですが、その他の車種も同様にインタークーラーASSYやパイピングに干渉しないよう加工してください。

| 注 意 | 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。 |
|---|---|

2. JZX90の場合

(1) 純正のリインホースメントを付属のスペーサー（4ヶ）を挟んで取り付けてください。
（付属のボルトを使用してください）




(2) フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取り付け、フロントバンパーカバーASSYを取り付けてください。
※ランプ等のコネクターは確実に接続してください。

JZX100の場合

(1) 付属のタイラップを使用して外気センサーを右ヘッドライト下に固定してください。
※コネクターは忘れずに接続してください。




(2) フロントバンパーカバーASSYを取り付けてください。
※ランプ等のコネクターは確実に接続してください。

3. フロントフェンダースプラッシュフロントシールドLHを加工してください。




4. フロントフェンダースプラッシュフロントシールド（RH・LH）及び、エンジンアンダーカバーを取り付けてください。
5. バッテリーのマイナス端子を取り付けてください。

■エンジンの始動にあたって■

**必ず換気の良い場所で行ってください。**

■ヘッドランプ、ターンシグナルランプが点灯するか確認して下さい。

■各部品はしっかりと固定されているか、エアー漏れはないか確認して下さい。

■インタークーラーの配管を間違えてないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか確認して下さい。

■配線・配管の取りまわしは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷がついたり配線ショートを起こしたりすると最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

ＪＺＸ90

6. クーリングファンエア抜き

(1)オイルリザーバータンクにパワーステアリングオイルをHOTの上限まで注入してください。

(2)エンジンを始動しアイドル回転状態でダイアグノーシスチェックワイヤーを使用してダイアグノーシスコネクターのOP1⇔E1端子間を短絡しファンを回転させてください。
（フルードがなくならないよう補充しながら行ってください）

(3)数分放置後、オイルリザーバータンクの口からフルードの泡立ち、白濁のないことを確認してください。

7. パワーステアリングエア抜き

(1)車両をリフトアップし、エンジン停止状態でステアリングホイールのロック ツゥ ロックをゆっくり数回行ってください。
（オイルリザーバーのフルードがなくならないように補充しながら行ってください。）

(2)車両をリフトダウンし、エンジンを始動して数分放置してください。

(3)エンジン回転数1000rpm以下で、ステアリングホイールのロック ツゥ ロックを数回繰り返してください。
（ロック ツゥ ロックはいっぱいに切った状態で、２～３秒保持し、切り返しは素早く行う。）

(4)オイルリザーバーの口から、フルードの泡立ち及び白濁がないことを確認してください。

(5)(4)の点検結果が不良の場合は、オイルリザーバーの口からフルードの泡立ち及び白濁が消えるまでエンジンを停止して放置した後、(2)・(3)の作業を行ってください。効果がない場合は、油圧系統のフルード漏れの点検を行ってください。

(6)エンジンを停止し、オイルリザーバーのフルードレベルの点検を行ってください。

以上でKITの取り付けは終了です。

## 必ず換気の良い場所で行ってください。

- ■ヘッドランプ、ターンシグナルランプが点灯するか確認して下さい。
- ■各部品はしっかりと固定されているか、エアー漏れはないか確認して下さい。
- ■インタークーラーの配管を間違えてないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか確認して下さい。
- ■配線・配管の取りまわしは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷がついたり配線ショートを起こしたりすると思わぬ事故や、エンジン破損の原因となります。

6. クーリングファンエア抜き

(1)オイルリザーバータンクにパワーステアリングオイルをHOTの上限まで注入してください。

(2)エンジンを始動しアイドル回転状態でダイアグノーシスチェックワイヤーを使用してダイアグノーシスコネクターのOP1⇔E1端子間を接続しファンを回転させてください。

(フルードがなくならないよう補充しながら行ってください)

(3)数分放置後、オイルリザーバータンクの口からフルードの泡立ち、白濁のないことを確認してください。

7. パワーステアリングエア抜き

(1)車両をリフトアップし、エンジン停止状態でステアリングホイールのロック ツゥ ロックをゆっくり数回行ってください。

(オイルリザーバーのフル[illegible]ないように[illegible])

(2)車両をリフトダウンし、[illegible]して数[illegible]さい。

(3)エンジン回転数1000[illegible]アリン[illegible]イー[illegible]ロック ツゥ ロックを数回繰り返してください。

(ロック ツゥ ロックはいっぱいに切った状態で、2～3秒保持し、切り返しは素早く行う。)

(4)オイルリザーバーの口から、フルードの泡立ち及び白濁がないことを確認してください。

(5)(4)の点検結果が不良の場合は、オイルリザーバーの口からフルードの泡立ち及び白濁が消えるまでエンジンを停止して放置した後、(2)・(3)の作業を行ってください。効果がない場合は、油圧系統のフルード漏れの点検を行ってください。

(6)エンジンを停止し、オイルリザーバーのフルードレベルの点検を行ってください。

以上でKITの取り付けは終了です。